

生計同一関係申出書（支払未済給付用）

共済組合受付印

① 請求者の住所、氏名

住 所 _____

氏 名 _____

（②との続柄： 夫・妻・子・父母・祖父母・孫・兄弟姉妹・その他の三親等内の親族）

② 組合員であった方の住所（亡くなった当時）、氏名

住 所 _____

氏 名 _____

1. 同居についての申立（住民票上の住所が異なっていた理由）（該当する番号に○をつけてください。）

※①と②が同居していたが、住民票上の住所が別になっていた場合に記入

(1) 介護・高齢等のため同居していたが、住民票は移していなかったため

(2) その他（具体的な理由を記入してください。）

以下の2～4については、①と②が別居していた場合に記入してください。

2. 経済的援助についての申立（該当する項目、番号に○をつけてください。）

※①と②が別居していた場合に記入

※ 経済的援助には、生活費・療養費・施設入居費等の現金によるものだけでなく、医療・食事・住宅・日用品・介護用品などの現物による援助も含まれます。

㊦ 経済的援助の有無 （ あり ・ なし ）

⇒ 「あり」の場合 （ ①が②を援助 ・ ②が①を援助 ）

㊧ 上記㊦で「あり」の場合にはその回数 （ 年 ・ 月 約 _____ 回程度 ）

㊨ 上記㊦で「あり」の場合にはその金額 （ 年 ・ 月 約 _____ 円程度 ）

㊩ 経済的援助の内容

(1) 定期的に現金を渡していた（口座振込・送金・手渡し）

(2) 不定期だが、必要に応じて現金を渡していた（口座振込・送金・手渡し）

(3) 入院費・施設費などを全額または一部負担していた

(4) 必要に応じて、現金以外で援助していた

(5) その他（具体的に記入してください。）

3. 別居していた理由（該当する番号に○をつけてください。）

※請求者と亡くなられた方の続柄が配偶者または子の場合で①と②が別居していた場合に記入

- (1) 婚姻したことにより、受給者とは別住所に住んでいたため
- (2) 単身赴任をしていたため
- (3) 施設（老人ホームまたはそれに準ずる施設・病院）に入っていたため
- (4) その他（具体的に記入してください。）

4. 定期的な音信・訪問についての申立（該当する項目、番号に○をつけてください。）

※請求者と亡くなられた方の続柄が配偶者または子の場合で①と②が別居していた場合に記入

- ㊦ 音信の手段（訪問・面会・電話・手紙・メール・その他 _____）※複数可
- ① 訪問回数（年・月・週約 _____ 回程度・なし）
- ㊧ 音信・訪問の内容
 - (1) 日常生活状況の確認・連絡
 - (2) 日常生活の援助
 - (3) 介護のため
 - (4) その他（具体的に記入してください。）

私は、上記のとおり上記②の者と生計を同じくしていたことを申し出ます。

山口県市町村職員共済組合理事長 様

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

請求者氏名 _____ ㊦

（請求者が自ら署名する場合には、押印は不要です。）

上記の内容について、第三者による証明を受けてください。
証明が受けられない場合は、下記の書類を添付してください。

（第三者による証明欄）

上記の内容は、事実と相違ないことを証明します。
また、私は上記①と②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

住 所 _____

氏 名 _____ ㊦ 請求者との関係
または職名 _____

（添付書類一覧）

- ・ 給与の扶養手当の対象となっていた場合 → 組合員又は請求者の賃金台帳等の写し
- ・ 所得税法上の控除対象となっていた場合 → 組合員又は請求者の源泉徴収票等の写し
- ・ 金融機関口座を介した金銭の援助関係がある場合 → 組合員及び請求者の預金通帳等の写し
- ・ その他、上記に準じる場合 → その事実を証する書類

※ 必要に応じて、書類の提出をお願いすることがあります。